



やまほうしょくじ

令和8年1月14日

八王子市立船田小学校

特別支援教室やまほうし

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。

冬休みが終わり、子どもたちの元気に登校する姿を見て安心しました。冬休みは「〇〇行ったよ」「お年玉もらったよ」と、楽しい話を聞くことができました。3学期は短い期間となります。子どもたちに寄り添いながら支援をしていきますので、よろしくお願ひします。



認知機能って何だろう？



★認知機能って何だろう？

「認知」とは、感覚を通して得られる情報をもとにして行われる情報処理の過程であり、記憶する、思考する、判断する、決定する、推論する、イメージを形成するなどの心理的な活動があります。学習の土台となる認知機能に偏りや弱さがあると、「漢字が覚えられない」「黒板の文字が写せない」「繰り上がり計算ができない」「先生の話を集中して聞いていない」「注意散漫になる」といった学習上の困難が見られます。認知機能は学習に必須な働きであり、学習につまずきを抱える児童は認知機能の働きのどこかに、または複数に偏りと弱さをもっているとされています。

★認知機能トレーニング（①目トレ ②耳トレ ③脳トレ）

目、耳、脳と身体の部位はそれぞれ役割があり、その役割を上手に活用していくかなくてはなりません。特に目から得る情報と耳から得る情報はどちらも大切であります。①目のトレーニングは、「ビジョントレーニング」とも呼ばれています。見ることに必要な視覚機能には、目で映像を捉える（入力機能）、見たものを認識する（情報処理機能）、見たものに合わせて体を動かす（出力機能）の3つがあります。この3つの働きがうまく連動しなかったり、一つでも欠けたりしてしまうと「見えづらさ」が生じてしまい、日常生活に支障があらわれることもあります。トレーニングを重ねることにより、視覚機能を総合的に向上させ、認知機能の向上につながります。②耳のトレーニングは、「イヤートレーニング」とも呼ばれています。聞き返しや聞き誤りが多い、口頭で言われたことを忘れてしまう、長い話になると注意して聞き続けるのが難しいなどが起きる児童もいます。学校生活の中には、様々な音があるため、どれが大切な情報かが分かりにくい。「誰が」「いつ」「どこで」「何をする」と、指示の重要なところだけがピックアップできるように、トレーニングを重ねると、頭の中で音韻、繰り返し言葉を反復できるようになります。③脳のトレーニングでは、短期的に記憶する、長期的に記憶するなど記憶することに着目をおきます。記憶したことを上手にアウトプットしていかないと、情報が混乱してしまいます。トレーニングを通して優先順位をつける、段取りを意識するなどを繰り返すことで、日常生活の中で困り感が軽減していきます。

認知機能はトレーニングを重ねていくことで、蓄積され効果が出てくるものであり、決して、トレーニングをしたから、すぐに効果が出るわけではありません。少しづつトレーニングを重ね、認知機能に偏り、弱さをもっている児童の困り感を軽減できるように支援していきます。

【12月の学習の紹介】

【お楽しみ会の話し合い】

1学期同様に、2学期のお楽しみ会の話し合いをしました。2回目ということもあり、話し合いが前回よりも上手にできていました。意見が分かれたときには「折り合い＝譲り合い」を活かして、「ゆするよ」「こっちでいいよ」などの声を聞くことができました。



【2学期のお楽しみ会】

話し合いで決めたことをもとに、「2学期のお楽しみ会」をやりました。司会、始めの言葉、ルール説明、終わりの言葉など、役割も自分たちで決めて準備をしてきました。アメリカンドッジやスーパードッジなどルールを明確化すること、その都度確認することで、トラブルなく楽しむことができました。勝敗がついても怒ったり、いじけたりすることなく過ごせるので、在籍学級に戻ったときや、放課後遊びなどでも活かせるように指導をしています。



【制限時間30分アート】

段取りを意識するをテーマに「制限時間30分アート」をやりました。

- ①もみの木
- ②星（大・小）
- ③雪だるま
- ④ビーズ通し
- ⑤サンタの色塗り

5つの作業工程を分担しました。分担も自分たちで話し合って決めました。

早く作業が終われば、終わっていない友達を助けたり、時間を見たり、終わらないと思ったら「手伝ってください」自分で言える児童が多くいました。

学校生活や日常の生活の中で、優先順位をつけながら生活するのは簡単のようで、難しいことです。その中でも時間を意識して、活動できるように意識しました。

